

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和7年6月27日(2025.6.27)

【公開番号】特開2024-112855(P2024-112855A)

【公開日】令和6年8月21日(2024.8.21)

【年通号数】公開公報(特許)2024-156

【出願番号】特願2024-77106(P2024-77106)

【国際特許分類】

G 06 Q 30/012(2023.01)

10

【F I】

G 06 Q 30/012

【手続補正書】

【提出日】令和7年6月19日(2025.6.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

家庭用電子機器デバイスを自動的に保護するための方法であって、

少なくとも1つのプロセッサによって、前記家庭用電子機器デバイスの動作からテキストを解析することによって、少なくとも1つの活動を検出するステップであって、前記少なくとも1つの活動は、前記少なくとも1つのプロセッサによって将来発生するものとして識別される、ステップと、

前記少なくとも1つのプロセッサによって、前記少なくとも1つの活動が危険シナリオに一致することを判定するステップと

を含む、方法。

30

【請求項2】

前記少なくとも1つの活動は、テキスト・メッセージ、電子メール、又は宛先アドレスのうちの少なくとも1つから前記テキストを解析することによって検出される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記少なくとも1つの活動は、解析すべき前記テキストを検出するために前記家庭用電子機器デバイスのユーザ・インターフェースを監視することによって検出される、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記少なくとも1つのプロセッサによって、前記少なくとも1つの活動が前記危険シナリオに一致することを判定するステップは、前記少なくとも1つの活動が定義された危険シナリオのリストの少なくとも1つの危険シナリオに一致することを判定するステップを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記定義された危険シナリオのリストの各危険シナリオは、消費者の活動中に前記家庭用電子機器デバイスに対する物理的損傷又は損失の危険として示される前記消費者の活動を表す、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記少なくとも1つのプロセッサによって、前記テキストを解析することによって前記少なくとも1つの活動を検出するステップは、前記テキストをプログラム的に読み取り、

50

前記テキストにおける公共イベント又は国際口ケーションを識別するステップを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

前記少なくとも1つのプロセッサによって、前記テキストを解析することによって前記少なくとも1つの活動を検出するステップは、前記テキストが公共イベント又は国際口ケーションのチケットの購入の確認を含むことを判定するステップを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

第1のソフトウェア・アプリケーションを介して、前記少なくとも1つの活動が前記危険シナリオに一致するとの判定に応答して、クラウド・サーバ上への前記少なくとも1つの活動の登録を自動的に開始させるステップを更に含む、請求項1に記載の方法。 10

【請求項9】

第1のソフトウェア・アプリケーションを介して、(i)前記少なくとも1つの活動が前記危険シナリオに一致するとの判定に応答して、且つ(ii)前記少なくとも1つの活動が発生する前に、通知メッセージを自動的に生成させるステップを更に含む、請求項1に記載の方法。

【請求項10】

第1のソフトウェア・アプリケーションを介して、(i)前記少なくとも1つの活動が前記危険シナリオに一致するとの判定に応答して、且つ(ii)前記家庭用電子機器デバイスの新しいバック・アップを自動的に開始させるステップを更に含む、請求項1に記載の方法。 20

【請求項11】

前記家庭用電子機器デバイスの最後のバック・アップの時期が時間閾値を超えていることを判定するために、前記家庭用電子機器デバイスを監視するステップと、

前記第1のソフトウェア・アプリケーションを介して、前記家庭用電子機器デバイスの前記最後のバック・アップの前記時期が前記時間閾値を超えているとの判定に応答して、前記家庭用電子機器デバイスの前記新しいバック・アップを自動的に開始させるステップと

を更に含む、請求項10に記載の方法。

【請求項12】

家庭用電子機器デバイスを自動的に保護するためのシステムであって、 30

前記家庭用電子機器デバイスの動作からテキストを解析することによって、将来発生するものとして識別される少なくとも1つの活動を検出し、

前記少なくとも1つの活動が危険シナリオに一致することを判定し、

第1のソフトウェア・アプリケーションを介して、(i)前記少なくとも1つの活動が前記危険シナリオに一致するとの判定に応答して、且つ(ii)前記家庭用電子機器デバイスの新しいバック・アップを自動的に開始させる

ように構成された少なくとも1つのプロセッサ  
を備えるシステム。 40

【請求項13】

前記少なくとも1つのプロセッサは、テキスト・メッセージ、電子メール、又は宛先アドレスのうちの少なくとも1つによって示される前記テキストを解析することによって、前記少なくとも1つの活動を検出する、請求項12に記載のシステム。

【請求項14】

前記少なくとも1つのプロセッサは、解析すべき前記テキストを検出するために前記家庭用電子機器デバイスのユーザ・インターフェースを監視することによって、前記少なくとも1つの活動を検出する、請求項12に記載のシステム。

【請求項15】

前記少なくとも1つのプロセッサは、前記少なくとも1つの活動が定義された危険シナ 50

リオのリストの少なくとも 1 つの危険シナリオに一致することを判定することによって、前記少なくとも 1 つの活動が前記危険シナリオに一致することを判定する、請求項 1 2 に記載のシステム。

**【請求項 1 6】**

前記定義された危険シナリオのリストの各危険シナリオは、消費者の活動中に前記家庭用電子機器デバイスに対する物理的損傷又は損失の危険として示される前記消費者の活動を表す、請求項 1 2 に記載のシステム。

**【請求項 1 7】**

前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記テキストをプログラム的に読み取り、前記テキストにおける公共イベント又は国際口頭を識別し、或いは

前記テキストが公共イベント又は国際口頭のチケットの購入の確認を含むことを判定する

ことによって、前記少なくとも 1 つの活動を検出する、請求項 1 2 に記載のシステム。

**【請求項 1 8】**

前記少なくとも 1 つのプロセッサは、前記第 1 のソフトウェア・アプリケーションを介して、前記少なくとも 1 つの活動が前記危険シナリオに一致するとの判定に応答して、クラウド・サーバ上への前記少なくとも 1 つの活動の登録を自動的に開始させるように更に構成されている、請求項 1 2 に記載のシステム。

**【請求項 1 9】**

前記少なくとも 1 つのプロセッサは、前記第 1 のソフトウェア・アプリケーションを介して、(i) 前記少なくとも 1 つの活動が前記危険シナリオに一致するとの判定に応答して、且つ (ii) 前記少なくとも 1 つの活動が発生する前に、通知メッセージを自動的に生成させるように更に構成されている、請求項 1 2 に記載のシステム。

**【請求項 2 0】**

前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記家庭用電子機器デバイスの最後のバック・アップの時期が時間閾値を超えていることを判定するために、前記家庭用電子機器デバイスを監視し、

前記第 1 のソフトウェア・アプリケーションを介して、前記家庭用電子機器デバイスの前記最後のバック・アップの前記時期が前記時間閾値を超えているとの判定に応答して、前記家庭用電子機器デバイスの前記新しいバック・アップを自動的に開始するように更に構成されている、請求項 1 2 に記載のシステム。

10

20

30

40

50